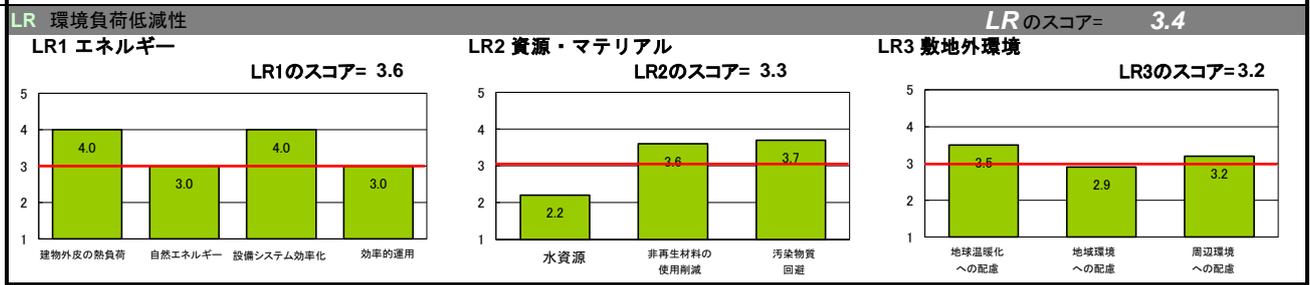
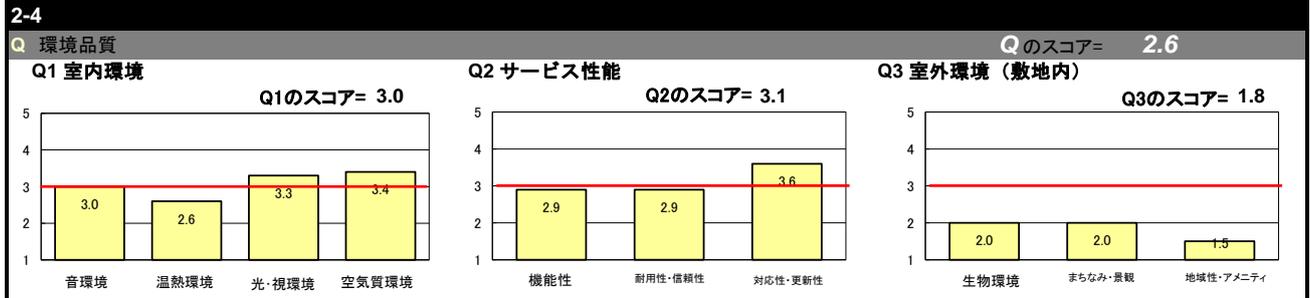
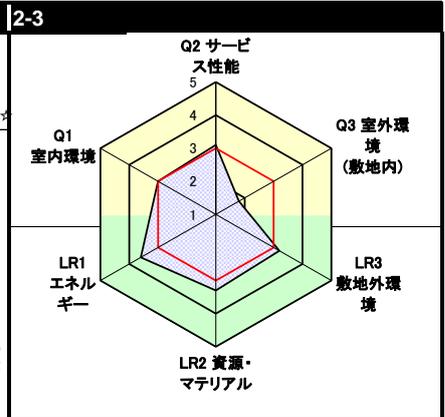
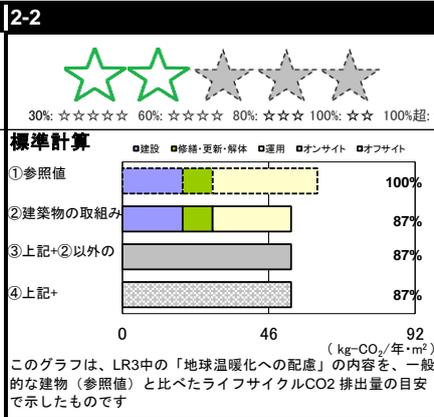
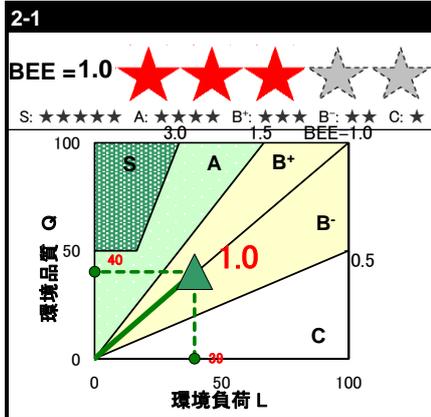


1-1		1-2	
建物名称	(仮称)守山乳業 株式会社 新本社工場計画	階数	地上4F
建設地	南足柄市塚原字上河原367番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	120 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年3月6日
敷地面積	16,904 m ²	作成者	株式会社 安藤・間一級建築士事務所
建築面積	6,424 m ²	確認日	2017年3月6日
延床面積	18,676 m ²	確認者	株式会社 安藤・間一級建築士事務所



3 総合

項目	内容
総合	製造・物流の国内拠点となる施設であり、製造棟と工場等を一棟にまとめ、生産から物流までワンストップで行えるようにしている。構内物流を考え、北側道路にゲート2箇所設け、車両動線が混乱しないよう建物外周部に1種道路を設け、ワケイで計画することで効率的な動線を確立している。また、隣地境界から建物が離れるので、近隣への圧迫感を抑え、製造棟、立体倉庫棟、ユーティリティ棟、排水処理棟と建物グループを分割し、山を背景とした街並みに調和するように計画している。
Q1 室内環境	事務室の昼光率を2.7%確保し、建物内を禁煙とするなど、室内環境の向上に努めている。
Q2 サービス性能	事務室の天井高を3.0m以上確保し、適切な位置に窓を配置している。また、階高にもゆとりをもたせ、壁長さ比率も0.095とし、建物のサービス性能に配慮した設計としている。
Q3 室外環境 (敷地内)	標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	BPIm=0.73、BEIm=0.75とし、省エネルギー性の高い建物としている。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を3品目使用し、再利用に配慮した部材を積極的に採用するなど、資源・マテリアルについて配慮した設計としている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率を87%とし、敷地外環境の向上に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される